

せんだいスクール・オブ・デザイン

学生便覧・シラバス

2013 年度秋学期

2013.11.2 版

目次

1. 受講モデル	2
2. 全体スケジュール	3
3. 2013 年度春学期開講科目シラバス	
PBL スタジオ 1 メディア軸 「仙台文学・映画の想像力」 / S-meme07 制作	4
PBL スタジオ 2 環境軸 ニュー・アーバンファーム・コミュニティ	5
PBL スタジオ 3 社会軸 ポスト復興の地域中心としての庁舎	6
PBL スタジオ 4 コミュニケーション軸 Cityformat - 都市生活のインターフェースを考えなおす 2 -	7
Interactive レクチャ 写真表現の現在	8
Future ラボ メディア・インスタレーションの未来	9
4. 講師とスタッフ	10

1. 受講モデル

受講コース：

受講にあたっては在籍期間と修了認定要件に応じて2種類のコースがあります。
受講および修了認定は、半年ごと年2回おこなわれます。

コース	在籍期間	修了認定に必要な取得ポイント数
基礎コース	半年	1.2以上。少なくともPBLスタジオの中から1スタジオを選択し、Interactiveレクチャを履修することが最小条件。
発展コース	一年	2.4以上。少なくとも半期ごとにPBLスタジオの中から1スタジオを選択し、Interactiveレクチャを履修すること。

2013年度秋学期からの受講期間は、下記のとおりです。

- ・基礎コース 2013年11月2日から2014年3月31日まで
- ・発展コース 2013年11月2日から2014年9月30日まで

※基礎コースを修了認定された方は、再度半年受講いただくことにより発展コース修了者として認定されます。

受講料：無料です。ただし、保険料や課題制作材料費等、一部実費の自己負担をいただく場合があります。

開講科目：

種別	科目	春学期 [5月-9月]	秋学期 [11月-3月]	ポイント
選択 必修科目	PBLスタジオ1 [メディア軸]	開講	開講	1.0
	PBLスタジオ2 [環境軸]	開講	開講	1.0
	PBLスタジオ3 [社会軸]	開講	開講	1.0
	PBLスタジオ4 [コミュニケーション軸]	開講	開講	1.0
	PBLスタジオ5 [国際軸]	開講せず	開講	1.0
必修科目	Interactiveレクチャ	3回	3回	0.2 [2回以上の出席でポイント取得]
選択科目	Future ラボ	開講せず	開講	0.5
	クリエイタ・イン・レジデンス	開講	開講せず	0.5
	アジャイル・リサーチ・プロジェクト [ARP]	開講	未定	0.5

ただし、複数のPBLスタジオをひとつの学期内で履修することはできません。

修了要件：ポイント取得の可否はスタジオマスターにより判定されます。

主に講義出席、積極性、成果品制作姿勢などにより総合的に判断します。

スタジオごとに諸条件が異なりますので、詳細は各スタジオのシラバスをご確認下さい。

2. 全体スケジュール [2013年度秋学期]

学事日程：

2013年11月2日〔土〕 受講ガイダンス／開講式

2014年2月14日〔金〕 学内講評会

2014年2月23日〔日〕 成果発表会・修了式

発展コースの方は、引き続き2014年5月開講の春学期を受講いただきます。

講義日程：変更になる場合があります。ウェブサイトのスケジュールを都度ご確認ください。

月	日	曜日	週	PBL1 メディア	PBL2+5 国際環境	PBL3 社会	PBL4 コミュ	レク	フラボ		
11	2	土		開講式@KatahiraX							
	3	日									
	4	月									
	5	火	第1週								
	6	水				#1★					
	7	木									
	8	金									
	9	土							#1★		
	10	日									
	11	月	第2週	#1		#2					
	12	火									
	13	水									
	14	木									
	15	金									
	16	土									
	17	日									
	18	月	第3週		#1				#2★		
	19	火									
	20	水									
	21	木									
	22	金				#3					
	23	土									
	24	日									
	25	月	第4週	#2★	#2★		#2				
	26	火									
	27	水									
	28	木									
	29	金									
	30	土							#3		
12	1	日									
	2	月	第5週								
	3	火									
	4	水			#4	#4					
	5	木						#1★			
	6	金									
	7	土									
	8	日									
	9	月	第6週				#3				
	10	火							#4		
	11	水							#5		
	12	木									
	13	金									
	14	土									
	15	日									
	16	月	第7週	#3★		#5	#4				
	17	火									
	18	水									
	19	木									
	20	金									
	21	土									
	22	日									
	23	月	第8週								
	24	火									
	25	水									
	26	木									
	27	金									
	28	土									
	29	日									
	30	月									
	31	火									

月	日	曜日	週	PBL1 メディア	PBL2+5 国際環境	PBL3 社会	PBL4 コミュ	レク	フラボ		
1	1	水									
	2	木	第9週	冬期休業							
	3	金									
	4	土									
	5	日									
	6	月									
	7	火	第10週	#4★							
	8	水									
	9	木			#9						
	10	金									
	11	土									
	12	日									
	13	月	第11週								
	14	火									
	15	水									
	16	木			#10	#6					
	17	金							#2★		
	18	土									
	19	日							#5★		
	20	月	第12週								
	21	火		#5★	#11 (WS)						
	22	水									
	23	木							#3★		
	24	金									
	25	土									
	26	日									
	27	月	第13週								
	28	火									
	29	水									
	30	木									
	31	金					#7				
2	1	土									
	2	日									
	3	月	第14週								
	4	火		#6			#6				
	5	水									
	6	木					#8				
	7	金									
	8	土									
	9	日									
	10	月	第15週								
	11	火									
	12	水									
	13	木									
	14	金									
	15	土									
	16	日									
	17	月	第16週								
	18	火									
	19	水									
	20	木									
	21	金									
	22	土									
	23	日									
	24	月	第17週								
	25	火									
	26	水									
	27	木									
	28	金									

★=オープンレクチャ(仮)

テーマ：「仙台文学・映画の想像力」 / S-meme07 制作

講師：五十嵐太郎 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授

仲俣 暁生 | フリー／文芸批評家、編集者

文芸批評家、編集者の立場から「文学」をテーマにした雑誌編集へのアドバイス、小課題の出題を行う。

土方 正志 | 有限会社荒蝦夷／編集者

仙台を拠点に出版・編集活動を行ってきた立場から仙台の作家についての知見を提供する。

小川 直人 | せんだいメディアテーク／学芸員

せんだいメディアテークで主に映像文化に関する企画を手掛けてきた立場から仙台が描かれた映像・映画についての知見を提供する。

担当助手：斧澤未知子 | SSD 研究員 ※連絡先 | onozawa@archi.tohoku.ac.jp

趣 旨：メディア軸では、毎回の講義、スタジオを受講生による編集会議と位置付け、最終成果物として仙台から発信する文化批評誌である『S-meme』の第七号を制作する。テーマに基づいたリサーチ、インタビュー、フィールドワーク、原稿の執筆から編集・装幀デザインまで、雑誌制作に関わる全ての作業に自分の能力を活かしながら関わり、雑誌を完成させる。第七号では、文学・映画を切り口として仙台を考える。そして現代の地方都市と物語的な想像力がどのような関係をもつかを探る。スタジオ活動は主に下記のことからなる。

- ・レクチャー : テーマに関する理解を深める。
 - ・小課題 : 「震災後に書かれた小説」を収集し、リアリティのあり方に即してマッピング／アーカイブしたカタログを作成する（予定）。
 - ・リサーチ : 仙台における文学、映画を取り巻く状況をリサーチし、記事にする。
 - ・フィールドワーク : (予定)。
 - ・雑誌制作作業、編集会議：原稿執筆から編集・装幀デザインまでを行い『S-meme』を完成させる。
 - ・その他、受講生同士で集まる自主的な勉強会など
-

修了要件：スタジオ成果物となる S-meme07 「仙台文学・映画の想像力」号の制作のためのリサーチを伴った原稿執筆、レクチャーに対する質疑応答、編集作業、装幀デザインなどの作業に、自分の能力を活かして積極的に関わること。

スケジュール：各日 19：00～

#1	11/12 [火]	19：00-22：00	五十嵐	キックオフ
#2	11/26 [火]	19：00-22：00	五十嵐・仲俣	仲俣レクチャー・小課題出題／編集会議
#3	12/17 [火]	19：00-22：00	五十嵐・仲俣・土方	土方レクチャー／小課題中間講評／編集会議
#4	01/07 [火]	19：00-22：00	五十嵐・小川	小川レクチャー／編集会議
#5	01/21 [火]	19：00-22：00	五十嵐・仲俣	小課題最終講評／編集会議
#6	02/04 [火]	19：00-22：00	五十嵐	編集会議

備 考：上記以外にも装幀デザイン、文字起こし、校正、その他編集作業などで分科会として別途、メンバーの日程を招請しミーティングが発生する。

小課題課題図書として、いとうせいこう『想像ラジオ』（河出書房新社）古川日出男『馬たちよ、それでも光は無垢で』（新潮社）ほか、震災後に書かれた現代小説作品。

テーマ：ニュー・アーバンファーム・コミュニティ

講師：石田 壽一 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授

佃 悠 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 助教

土岐 文乃 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 助教

皆川 典久 | 東京スリパチ学会会長 / 鹿島建設株式会社東北支店

地形と水系を体験的に理解するフィールドワークとその手法のレクチャー及び課題のエスキスを行う。

中野 和典 | 日本大学工学部土木工学科 准教授

グリーンインフラストラクチャーの概論と実践のレクチャーを行う。

野内 隆裕 | 路地連新潟/イラストレーター・にいがた観光カリスマ

2013GD 賞を受賞した、地域コミュニティ形成の実践的手法のレクチャーを行う。

担当助手：井上 宗則 | 東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻助手 ※連絡先 | m-inoue@archi.tohoku.ac.jp

趣 旨：今日、先進国における伝統的な農業生産環境は、作物の商品競争力のみならず、農業の6次産業化やスマートアグリカルチャー等の先導的事例に見るようにグローバル市場における流通競争力や環境持続性など、これまでにない条件の最適化に晒され、これまでのコミュニティが大きな変貌期に直面している。当スタジオではニュー・アーバンファーム・コミュニティをテーマに、台湾の伝統的な農業地域の次世代コミュニティとデザインの指針について国際的な視点から提案を考える。

修了要件：リサーチワークショップに参加もしくは調査結果報告を共有し、マスタープラン・建築提案を行うこと。

スケジュール：

#1	11/20 [水]	13:00-17:50	石田・土岐・佃		台湾調査報告
#2	11/26 [火]	19:00-21:00	石田・皆川・中野		中野和典・皆川典久レクチャー
#3	11/27 [水]	13:00-17:50	石田・土岐・佃		エスキス/マスタープラン
#4	12/04 [水]	13:00-17:50	石田・土岐・佃		エスキス/マスタープラン
#5	12/12 [木]	13:00-18:00	石田・皆川・土岐・佃		中間講評・SWW(※1)参加
#6	12/13 [金]	19:00-21:00	石田・皆川・野内		野内隆裕レクチャー
#7	12/14 [土]	10:00-16:00	石田・皆川・野内		フィールドワーク1 岩出山
#8	12/18 [水]	13:00-17:50	石田・土岐・佃		エスキス (個人建築プロジェクト)
#9	01/08 [水]	13:00-17:50	石田・土岐・佃		エスキス (個人建築プロジェクト)
#10	01/16 [木]	13:00-17:50	石田・土岐・佃		エスキス (個人建築プロジェクト)
#11	01/20 [月]	~01/24 [金]	石田・土岐・佃		台湾学生とのワークショップ
#12	01/25 [土]	10:00-16:00	石田・皆川・土岐・佃		フィールドワーク2 仙台

備 考：

※1 今年度は、国際軸との合同スタジオであり、東北大学大学院講義「都市・建築設計II」との連動科目となります。

※2 SWWとはスマートワークウィーク(SWW)は東北大学とオランダ王国大使館の共催で開催されるワークショップです。SWWではこれまでに世界のスマートコミュニティやスマートアグリカルチャーに関するワークショップやレクチャーを開催しています。今回はスマートアグリカルチャーをベースにしたコミュニティ形成とライフスタイルデザインの可能性について、オランダの専門家を招聘して議論を展開し、台湾プロジェクト

を検討する上で有用な知見獲得の場とします。
2013年度秋学期 PBL スタジオ 03 社会軸 [必修選択科目 | 1.0 ポイント]
テーマ：ポスト復興の地域中心としての庁舎

講師：小野田泰明 | 東北大学 大学院工学研究科 都市・建築学専攻 専攻長/教授

松永 桂子 | 大阪市立大学 創造都市研究科 都市政策専攻 准教授

地域産業からみた都市と地方の発展・成熟過程について講義。

担当助手：岩澤拓海 | SSD 研究員 ※連絡先 | iwasawa@archi.tohoku.ac.jp

趣旨： 東日本大震災から2年が過ぎ、住民・行政・ボランティア・学識など様々な人によって、ゆっくりではあるが地域の復興が進められつつある。しかし忘れてはならないのは、これら被災自治体は少子化・高齢化・人口の流出など震災以前に抱えていた課題とも向き合わなければならないということである。

宮城県山元町も「被災」によって縮退の時計の針が進められた自治体の一つである。大規模な人口減少、高齢化、産業の衰退、自治体の財政状況の悪化という様々な課題が加速度的に表出し始めている。

他方、「復興」は必然的に新しい公共物—役場・地域交流施設、公営住宅といった公共施設—の整備を必要とする。

縮退が加速する自治体において、そうした過大とも言える公共物のマネジメントを将来的にどのように執り行っていくのかは喫緊の課題である。一方で被災からの復興は地域を担う NPO など、新しい公共の芽も育てている。

本スタジオは、実際に新設が検討される庁舎のあり方を手がかりとしながら、復興の活力をとりこみ、地域社会と共存する新しい行政体のあり方を検討するものである。そこには新しい地域の運営主体のあり方、行政と民の適切な役割分担、それを支える仕組み、資金計画、活動が展開される場としてのハードのあり方などが含まれる。意識ある方々の積極的な参画を期待したい。

修了要件：スタジオ前半に行われるフィールドワーク等に参加し、調査結果を元にしたディスカッション等に積極的に関わること。また、スタジオ後半では提案のための準備に参加し、企画書等の作成に個人の能力を活かして参加すること。

スケジュール：

# 1 11/06[水] 19:30-21:30	小野田・松永	レクチャー
# 2 11/12[火] 19:00-21:00	小野田	レクチャー
# 3 11/22[金] 19:00-21:00	小野田	レクチャー
# 4 12/04[水] 19:00-21:00	小野田	ディスカッション/エスキス
# 5 12/16[月] 19:00-21:00	小野田・松永	レビュー
# 6 01/16[木] 19:00-21:00	小野田	ディスカッション/エスキス
# 7 01/31[金] 19:00-21:00	小野田	レビュー
# 8 02/05[水] 19:00-21:00	小野田・松永	スタジオ内講評会

備考：上記日程の他に必要の際は別途ミーティング・フィールドワーク等の機会を設ける。積極的に外部の NPO、団体、プロジェクト等と協働することも予定している。

テーマ：Cityformat - 都市生活のインターフェースを考えなおす 2 -

講師：本江正茂 | 東北大学都市・建築学専攻 准教授

logue | 菊地正宏 小川直人 酒井聡 柿崎慎也 鹿野護

領域を横断する対話を促進し、スタジオ全体のファシリテーションを行う。

高橋 徹 | 情報デザイナー・プロデューサー / 株式会社 ATR Creative

地図の専門家の観点からレクチャーを行う。

櫻田 潤 | インフォメーション・デザイナー / VISUAL THINKING 運営者

インフォグラフィクスの専門家の観点からレクチャーを行う。

担当助手：山田 哲也 | SSD 研究員 ※連絡先 | yamada@archi.tohoku.ac.jp

趣 旨：都市を形成する書式=Cityformatを情報/ウィジュアルから考えなおすシリーズの2回目。今回は前期の成果を踏まえ、1枚の用紙から広報誌、壁にかけられた掲示板からモニター上の画面にいたるまで市民と都市をつなぐ、公共空間におけるインターフェースとその作り方を具体的に考えなおす。印刷物やサインにおいて、誰にでもわかりやすく美しいフォーマットを設計する視点や方法について実践的に取り組む。都市、地域、組織や施設といったコミュニティ内で用いられる印刷物などの情報提示の方法を設計し直すことで、そのユーザー=デザインの専門知識や経験がないごく一般の人にも扱えるデザインのあり方を考え、美しいデザインと実用的なデザインの両立を目指す。ベタ・ワークとしての課題：宮城野区文化センターでの情報デザインに関する提案（グラフィック、ナビ、システム等）をつくる。

1] ベタ・ワークとしての課題:

・宮城野区文化センターへの地図・宮城野区文化センターからの地図・宮城野区文化センターの中の地図の3つの地図を2~3人程度のグループでそれぞれ制作する。制作された成果物は学内講評会までブラッシュアップし続け、印刷やWeb利用のためのアクセスマップ・周辺案内図・館内サインとして宮城野区文化センターへ納品し実用化する。

2] メタ・ワークとしての課題:

・宮城野区文化センターへ/から/の地図のデザインガイドをつくる。地図を制作する上で欠かせない情報、情報過多に陥った場合の情報の削り方など伝わる・使い易い・美しい地図が誰にでも制作できるデザインガイド(本・プレゼンマップ)を制作する。

さらに将来的には、SSDの成果を利用したプログラムとして、下記のような展開を目指したい。

- よりよいCityformatのための原則から非デザイナーの美しいデザインと実用的なデザインの"教材"を作成する。
 - 仙台市職員などを対象とした非デザイナーのための情報デザインの研修プログラムとして企画運営する。
-

修了要件：講義への参加状況と最終製作物とを総合的に判断する。スタジオへの主体的な参加を期待する。

スケジュール：

# 1	11/18	[月]	19:00-22:00	本江・logue・高橋		宮城野区文化センター見学+レクチャー
# 2	11/25	[月]	19:00-22:00	本江・logue		エスキス
# 3	12/09	[月]	19:00-22:00	本江・logue		中間講評
# 4	12/16	[月]	19:00-22:00	本江・logue		エスキス+ディスカッション
# 5	01/18	[土]	13:00-16:00	本江・logue・櫻田		レクチャー+エスキス
# 6	02/03	[月]	19:00-22:00	本江・logue		エスキス+ディスカッション

テーマ：写真表現の現在

講師：小山 泰介 | 写真家

笠原美智子 | 東京都写真美術館 / 事業企画課長、キュレーター

新津保建秀 | 写真家

コーディネーター：五十嵐太郎 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授

ファシリテーター：土岐 文乃 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 助教

佃 悠 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 助教

趣 旨： 今期の Interactive レクチャーのシリーズでは、写真の分野に関わる三人がゲストとなる。二名の写真家と一名のキュレータに、それぞれの立場から写真表現の現在について語ってもらう。

小山泰介は、都市におけるモノの表面を超高解像度で撮影し、肉眼では見えない細部がもつ驚くべき世界をあらわにする。主な展覧会として、虹のイメージが自然現象によって溶解していくシリーズの「M3elting Rainbows / Starry」(2010年)など。瀬戸内国際芸術祭 2013 では醤油倉庫レジデンスプロジェクトに参加し、醤油の結晶を撮影した。主な写真集に、抽象と具象の裂け目に世界が生起するかのよな「entropix」(2008年)など。

そして東京都写真美術館の学芸員である笠原美智子は、主にジェンダー、身体、セクシャリティをめぐるテーマを探求してきた。主な企画展に『ジェンダー 記憶の淵から』(1996年)、『ラヴズ・ボディ ニード写真の近現代』(1998年)など。2005年のヴェネツィアビエンナーレでは、日本館のコミッショナーをつとめ、石内都の展示を行う。主な著作に『ヌードのポリティクスー女性写真家の仕事』、『写真ー時代に抗するもの』など。

新津保建秀は、新しい風景写真からももいるクローバーまで、幅広く活動する写真家である。リスボン建築トリエンナーレ 2007 に出品された原田真宏+原田麻魚の建築写真、複雑系の科学者、池上高志とのコラボレーションによる展覧会「Rugged Timescape」、2013年に話題になったゲンロン書籍『チェルノブイリ・ダークツーリズム・ガイド 思想地図 β vol.4-1』における現地取材の写真など、異分野との協同作業を開拓している。

この科目では、以上の三人のレクチャーと、受講者による長時間のインタラクティブな質疑応答によって、言葉によってデザインを論じることを学ぶ。

修了要件： 3回開催のうち2回以上の出席

スケジュール：

#1	12/05 [木]	19:00-22:00	小山 泰介	「COLLECTED PHENOMENA / 小山泰介の写真」
#2	01/17 [金]	19:00-22:00	笠原美智子	「日本の現代写真 女性作家を中心に」
#3	01/23 [木]	19:00-22:00	新津保建秀	「風景 / 余白」

場 所： #1~3 house/阿部仁史アトリエ [仙台市若林区卸町 3丁目 3-16] ※変更の場合有

備 考： 一般公開 | 要事前申込

当日ドリンク代として 500 円頂きます。ご協力下さい。

テーマ：メディア・インスタレーションの未来

講師：本江 正茂 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 准教授

渡邊 英徳 | 首都大学東京システムデザイン学部 准教授

柴山 明寛 | 東北大学災害科学国際研究所 准教授

佐藤 翔輔 | 東北大学災害科学国際研究所 助教

災害アーカイブの研究者としてレクチャーを行う。

市川 創太 | 建築家/ダブルネガティブスアーキテクチャー代表

情報視覚化の専門家としてレクチャーを行う。

WOW | ビジュアルデザインスタジオ

メディアアートの専門家としてワークショップの運営を行う。

担当助手：山田哲也 | SSD 研究員 ※連絡先 | yamada@archi.tohoku.ac.jp

趣 旨：自動販売機や商空間のディスプレイ、役所の窓口など、公共空間においては様々なメディアを用いて、数多くの情報が三次元的にレイアウトされている。そして人は環境から様々な情報を読み取っており、わずかな物や情報の配置の違いが人々のふるまいに影響を及ぼしている。これら人とのインタラクションが生まれる情報のインスタレーション、すなわち「メディア・インスタレーション」と空間について考察する。デジタルサイネージが都市空間を埋め尽くそうとしている現在、メディア・インスタレーションと空間における人々のふるまいの関係について考えることはとても重要であるとする。

一方、東日本大震災は、情報システムの発達した先進国で発災し、災害に関するさまざまなデータか過去類を見ないほど大量に観測された災害として知られている。大量の災害に関する資料がアーカイブされつつあり、活用が期待されている。本スタジオでは東北大学災害科学研究所と連携し、災害情報を提示するメディア・インスタレーションを構想したい。このFutureラボ「メディア・インスタレーションの未来」では、災害のアーカイブや情報インターフェースに実践的に取り組む講師を招き、レクチャーを聴講し、災害情報アーカイブを人々に提示するためのメディア・インスタレーションを提案する。

備考：ワークショップでは簡単なプログラミングを行う。初心者から参加できるよう配慮する。

修了要件：制作ワークショップへの参加必須。その他講義への参加状況と最終製作物とを総合的に判断する。

スケジュール：

#1	11/11 [月]	19:00-22:00	本江・柴山・佐藤・渡邊	レクチャー
#2	11/20 [水]	19:00-21:00	本江・市川	レクチャー
#3	11/30 [土]	10:00-12:00	本江	施設見学 (感覚ミュージアム・宮城県大崎)
#4	12/10 [火]	19:00-22:00	本江・WOW	制作ワークショップ
#5	12/11 [水]	19:00-22:00	本江・WOW	制作ワークショップ

| 東北大学教員 |

本江 正茂 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 准教授]
五十嵐太郎 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授]
石田 壽一 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授]
小野田泰明 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授]
佃 悠 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 助教]
土岐 文乃 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 助教]
井上 宗則 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 助手]

| 非常勤講師 | ※科目順

仲俣 暁生 [フリー／文芸批評家、編集者]
皆川 典久 [東京スリパチ学会会長、鹿島建設株式会社 東北支店建築設計部]
松永 桂子 [大阪市立大学 創造都市研究科 都市政策専攻 准教授]
logue [菊地正宏 小川直人 酒井聡 柿崎慎也 鹿野護]

| 招聘講師 | ※科目順

土方 正志 [有限会社荒蝦夷／編集者]
小川 直人 [せんだいメディアテーク／学芸員]
中野 和典 [日本大学工学部土木工学科 准教授]
野内 隆裕 [路地連新潟／イラストレーター・にいがた観光カリスマ]
高橋 徹 [情報デザイナー・プロデューサー／株式会社 ATR Creative]
櫻田 潤 [インフォメーション・デザイナー／VISUALTHINKING 運営者]
小山 泰介 [写真家]
笠原美智子 [東京都写真美術館／事業企画課長、キュレーター]
新津保建秀 [写真家]
市川 創太 [建築家／ダブルネガティブスアーキテクチャー代表]
渡邊 英徳 [首都大学東京システムデザイン学部 准教授]
WOW [WOW]

| SSD 研究員 |

岩澤 拓海 [東北大学大学院工学研究科 科学技術振興研究員]
斧澤未知子 [東北大学大学院工学研究科 科学技術振興研究員]
鎌田 恵子 [東北大学大学院工学研究科 科学技術振興研究員]
山田 哲也 [東北大学大学院工学研究科 科学技術振興研究員]

お問い合わせ：

せんだいスクール・オブ・デザイン事務局

〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1 電気通信研究所内

東北大学大学院工学研究科都市建築学専攻

tel : 022-217-6355

fax : 022-217-6350

email : info@sendaischoolofdesign.jp

<http://sendaischoolofdesign.jp>